

平成30年度

社会福祉法人恵正福祉会
とうかいどう保育園

事業報告

平成30年度総括

保育サービスの質の向上を第一目標に掲げ、一番重要な「人材」の育成を計るため外部有識者による保育の実地指導と講習、討議を行いました。

とごしの杜保育園と、とうかいどう保育園の合同研修を実施し多人数による討議を行い多種多様な意見をお互い認識、共有し自己のレベルアップに努めました。

危機管理委員会に外部の専門講師を招き、安全管理に対する基本教育及び保育園で実際に発生した事例を元に予防、対策等を検討しました。

保育士には外部研修も積極的に受講するよう勧め、保育園の情報網から入ってくる各種研修案内を掲示し、園長から受講の指示もしました。

大切にしたい価値観の実行

- ◇ 子どもたちの一日の様子は連絡帳、日誌、掲示板で公開しました。
 - ◇ 利用者の皆様の要望や、ご意見は財産としてしっかり受け止めて対応しました。
 - ◇ グローバル化において、異文化吸収のための基礎を培う『英語教室』の活動を実施しました。
 - ◇ 茶道教室では、礼儀作法の基本を身に付けながら、挨拶がしっかりできるよう社会性のある子を育てていきます。
 - ◇ 専門指導員により体操、英語、リトミック、音楽リズムの指導をいただき、「リズム感、表現力」を育成しました。
 - ◇ 食育活動として、プランターで種から「野菜」を植え、また「さつま芋」を法人本部の畑で収穫し、クッキング保育で食し、食物への興味、関心を育て意欲的に食に興味をもたせるようにしました。
 - ◇ 地域子育て支援（カンガルーひろば）では、給食体験、子育て相談を行い月曜日から金曜日まで保育園を開放し、子育て家庭を支援しました。
- 以上の行動を通して、地域住民、保護者との強い信頼関係を築き、利用しやすい保育園を目指しました。

年齢等に応じた保育内容及び保育計画、指導計画、年間行事

保育所保育指針、就学前教育カリキュラム活用ハンドブック等に基づいて、子どもが現在を最もよく生き望ましい未来を創り出す力、「生きる根っこ」の基礎を培うため、乳幼児期の発達の特徴を十分に踏まえて入園から卒園までの発達の見通しをもちきめ細やかな対応が図れるようにすることが重要であると考えます。

そのために、保育理念、保育方針に基づいて、年齢別保育を基本に、異年齢交流保育、世代間交流保育、障害児保育等を実施しました。

年齢等に応じた保育内容及び保育計画、指導計画作成に当たっては、自然環境の工夫や地域環境を積極的に活用し、実態に即した保育課程、年間・月間指導計画、

週日案を作成し実施しました。

行事についての考え方

わたしたちには、過去の人が築き上げた文化があります。伝統行事や文化に触れることにより、生活体験の広がりや、様々な気付き、豊かな発想につながって豊かな感性が養われることを目的に様々な行事を引き継いでいきます。

こどもの日、七夕、夏祭り、敬老の日、お正月、節分の豆まき、ひな祭りなど各行事を体験しながら日本の伝統文化、行事に親しみ情操豊かな子どもの育成に役立て、子どもたちが楽しんで参加できる企画を立て実行しました。

年間行事

4月	入園式、保護者会
5月	こどもの日、全園児健康診断、全園児歯科健診
6月	眼科健診、おみこしかつぎ
7月・8月	七夕集会、夏祭り、プール遊び
9月	高齢者施設との交流会、運動会
10月	全園児健康診断、ハロウィン、芋ほり遠足、保護者会
11月	
12月	おたのしみ会
1月	正月遊び
2月	節分、保護者会
3月	ひなまつり、就学祝い会、お別れ遠足

- ◇ 毎月の誕生会を行い、誕生月の子どもを全クラスでお祝いしました。また子どもの生まれた日に栄養士さんがお祝いの旗と、別メニューをプレゼントしました。
- ◇ 避難訓練は、火災、地震、消火と実施し、指定避難先の小学校まで避難、起震車体験も実施します。
- ◇ 身体測定は、春、秋の二回、頭囲、胸囲、身長、体重測定を実施。0歳児健診は毎月嘱託医により実施。

保護者との連携

- ◇ 子どもの体調を把握するため0，1歳児は体温を測り、トイレを済ませてから保育士に引き渡すようにしています。
- ◇ 職員間の日々の連絡事項は登園、降園時を利用して口頭で行い、事務連絡簿に記入し、各クラスに連絡報告することにより保護者に確実に情報を伝え保護者にご安心頂けるようにしています。
- ◇ 月の指導計画、週案、その日の活動をクラス掲示板でお知らせしています。
- ◇ 給食サンプルは、その日のメニューを展示しています。
(「食」への関心を高める手段として)
- ◇ 園だよりは毎月1回発行し、保育園全体のことを伝えています。

- ◇ クラスだよりは、保育活動を伝えています。
- ◇ 保護者会は年3回開催し、各クラスの保育内容、子どもの姿等意見交流を図っております。

地域社会との交流

保育園の子どもたちの活力は地域にとって貴重な資源です。子どもたちの存在と子どもたちのエネルギーを街づくりに活かせるよう積極的に地域に関わっていきました。

- ◇ 地域の子育て家庭の支援を行いました。
- ◇ 子どもたちの探索活動を通して、地域の子どもたち（保護者）と交流しました。
- ◇ 子育て相談を行いました。
- ◇ 地域の保育園と交流や、小、中、高、の職場体験を受入れました。
- ◇ 保育体験ボランティアを受入れました。

特別保育事業の実施

産休明け保育、障がい児等保育、延長保育、保育士体験、給食体験、子ども赤十字活動参加、園の見学随時、けん玉教室を実施しました。

運営

職員構成（平成29年4月）

園長1名、副園長1名、保育士（常勤）16名、保育士（非常勤）8名、看護師1名、保育補助5名、事務員（常勤1名、非常勤1名）

給食関係は業務委託

嘱託医1名、歯科健診医1名、眼科健診医1名

クラス編成・職員配置（平成30年4月在籍児童数100名）

クラス	園児数	基準配置
0歳 ひよこ組	12	保育士4
1歳 ペンギン組	18	保育士4
2歳 あひる組	18	保育士3
3歳 うさぎ組	17	保育士2
4歳 こぐま組	18	保育士1
5歳 ぞう組	17	保育士1
地域子育て支援	保護者、児童数…不定	保育士1

月別児童在籍人数（平成30年）

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	12	12	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12	12
1	18	18	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18
2	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3	18	17	17	17	18	18	18	18	17	17	18	18	18

4	18	18	18	18	18	18	17	17	18	18	18	18	18
5	18	17	18	18	18	18	17	16	16	16	16	16	16
計	102	100	100	100	101	101	100	99	99	99	100	100	100

地域子育て支援（カンガルーひろば）

とうかいどう保育園では地域の子育て家庭を応援します。このため地域の子育て家庭を対象に次の事業を行いました。

① カンガルーひろば

地域にお住いの親子が自由に利用できるフリースペースとして保育園の一部を開放しました。利用は保育園開園日の月曜日～金曜日、午前10時～15時としています。

② 給食体験

地域にお住いの親子が保育園の各クラスと一緒に昼食を食べることにより保育園での給食や食育などを体験できる取組をしました。

③ 各種教室

地域にお住いの親子を対象に各種教室を開催しました。

- ・音楽リズム教室
- ・体操教室
- ・リトミック教室
- ・英語教室
- ・親子遊び

④ 子育て相談

地域にお住いの子育て中の皆様の子育てに関する悩みや相談を受け付けました。

⑤ 行事の開催

ハロウィン、クリスマス会、運動会、プールなどの季節の行事を行いました。

職員会議等

平成30年度も会議等のあり方を見直しました。少しでも多くの時間を保育業務に費やすために、形骸化している打合せは廃止し必要最低限の開催としました。

- ・朝礼（朝打合せ）・・・土曜日を除く開園日の午前9時15分から、各クラス代表者出席。15分程度の打合せ実施
- ・全体職員会議月1回実施
- ・カリキュラム会議月1回実施

アレルギー面談

アレルギー園児面談を年2回実施しました。

保育教育研修会

平成 29 年度は職員人材育成に力を入れました。外部有識者の所見を踏まえた年間研修計画を策定しました。

今年度重点的な実施事項

- ◇ 職員人材育成を研修計画に基づき実施しました。
- ◇ 給食委員会を発足し食育計画および給食委託業者との連携をさらに強化しました。
- ◇ 保健衛生委員会を発足し、保健衛生全般に係る標準化および啓発に努めました。

防災対策

- ◇ 火災、地震、消火、水害、不審者その他災害から身体、生命を守る保護に万全を期しました。
- ◇ 月 1 回の避難訓練、訓練用消火器で消火訓練を実施しました。
- ◇ 非常食、飲料水については昨年度事業で入れ替えましたが、今年度も非常食を購入しました。
- ◇ 安心伝言板活用による、携帯メール受信で保護者への一斉連絡を必要に応じて実施しました。

苦情解決

「安心と信頼」「笑顔とチームワーク」を理念に掲げている当法人は、利用者の立場に立ってご意見を伺う体制が構築されています。

保護者の皆様と保育園はコミュニケーションを活性化し、苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることで保育園の信頼を高めると共に、適正な運営の確保を図り、第三者委員の委嘱、苦情解決責任者を設置しています。本年も数件の苦情を受け付けましたが軽微なものでした。

園舎、設備の増設、維持管理

- ◇ 園舎、設備の定期点検保守を実施しました。

実施した定期点検保守事項

- ・ 電気設備保安点検・エレベータ点検・消防設備点検・建築設備定期検査
- ・ 特定建築物定期検査・水質検査・貯水槽清掃、給水ポンプ点検・害虫駆除
- ・ 排水管高圧洗浄・定期ガラス清掃・エアコン、天井扇清掃・学校 110 番点検
- ・ 自動ドア点検・厨房設備点検・手洗消毒液補充・空気清浄器清掃

職員福利厚生

- ◇ 5 階北側の教材室を活用して職員休憩室の設置を準備中です。

- ◇ 年1回定期健康診断を行いました。
- ◇ 毎月1回細菌検査（赤痢菌、サルモネラ菌、腸チフス菌、パラチフス菌、病原性大腸菌（O-157））を実施しました。
- ◇ インフルエンザの予防接種を行いました。